

らじみサラダボール子育て情報



「依存と自立」
令和4年1月12日号
板橋富士見幼稚園



わがママ？それとも自立？

「うちの子が最近言うこと聞かない」とこぼされているお母さんはいませんか。

いつも素直に親のいうことを受け入れていた我が子が、徐々に私の言うことを聞かず、汚い言葉で反発することが多くなり、ついつい叱ってしまうことがありますとよく聞きます。そして、子どもの言うことを何でも聞き入れていると、わがママになってしまうのではと心配する方もいます。

子育ては、本当に難しいですね。でも、大丈夫です。



子どもは、成長と共に親や周囲の人への依存度が強くなり、この依存度が強ければ強いほど、自立への力が早く強まっていきます。それに伴って拒否も強く現れてくるのです。

特に、愛情深く欲求に素早く答えて育ててきたお子さんは、当然親との強い絆によって何でも言える関係が構築されています。だからこそ自分の思った事を押し通そうと拒否や反発をして語りかけてくるのです。しかしこの語りかけも、将来的に自分の言葉で伝えるための重要な基盤となります。

「わがママ」も、ちゃんと育てている証拠です。言い換えれば「わがママ」は「何でも言える子」として育つための土壌がつけられている現れなのです。

拒否を含む自己主張のはじまりです。新たな発達段階にステップアップしたと思ってください。この時、是非大切にしてほしいことは、「どうしてそうしたいの」と考えさせることです。そのうえでしっかりと折り合いをつけていくようにしましょう。やがて、理解力のあるお子さんとして育っていきます。

幼児期は、親との葛藤の時期です。だから子育ては、大変だけど面白いのです。